証券コード：6741

BUSINESS REPORT

第138期　中間報告書

2020.4.1～2020.9.30

NIPPON SIGNAL

絵（心象画）のご紹介

タイトル　古都を走る（江ノ島電鉄）

作　　者　福島 尚（ふくしま ひさし）さん

プロフィール：1969年9月生まれ。埼玉県日高市在住。
自閉症を抱えながらも努力を積み重ね、全国の鉄道をモチーフに精巧な絵を描く。緻密であり、またどこか懐かしさを感じさせる独特なリアリズムで、多方面から注目を集めている。近年は個展の開催や企画展への参加で、全国を舞台に活躍している。

連結業績の推移

受注高 (百万円)

売上高 (百万円)

経常利益 (百万円)

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 (百万円)

1株当たり配当金 (円)

※創業90周年記念配当1円を含む

配当性向 (%)

『インフラの進化』を支えることで国内外の社会的課題を解決し、世界の人々から尊敬される企業グループを目指す。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当社グループの第138期第2四半期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）決算の概要につきましてご報告申し上げます。

第138期第2四半期決算の概要

当第2四半期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策としての各防疫措置が緩和され企業活動が再開し、景気回復の兆しがみられたものの、感染が再拡大したことにより、都市封鎖や移動制限の実施が懸念され、先行きは不透明になっております。

国内経済においても、企業活動の再開による輸出の増加や、新しい生活様式に適合した製品・サービスによる内需の持ち直しにより、景気の改善が見込まれておりますが、感染再拡大のリスクが残る間は、雇用調整や設備投資の落ち込みが懸念され、景気や業績の先行きに対する見方は、なおも慎重にならざるを得ない状況にあります。

このような厳しい状況下ではありますが、当社グループは、中期経営計画の重点課題である「変化を先取りしたビジネス創出と技術力の強化」の一環として、デジタルトランスフォーメーションを踏まえた製品やサービスの開発と営業活動に注力いたしました。また、収益力の向上のため、働き方の見直しとコスト削減等に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績といたしましては、受注高は39,314百万円（前年同期比27.9%減）、売上高は35,190百万円（前年同期比22.7%減）となりました。損益面につきましては、営業利益は1,200百万円（前年同期比59.6%減）、経常利益は1,737百万円（前年同期比47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,364百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

中間配当金につきましては、期初計画どおり1株当たり7円としております。

代表取締役社長　塚本英彦

交通運輸インフラ事業

売上高 **18,356** 百万円（前年同期比14.7％減）

鉄道信号

売上高 **16,835** 百万円
（前年同期比12.8％減）

九州旅客鉄道株式会社様
819系　DENCHA

第2四半期のポイント

「鉄道信号」では、国内市場において、JR・私鉄各社の信号保安装置であるATC(自動列車制御装置)やCTC(列車集中制御装置)等の受注・売上がありました。新たな価値を創造する商材の開発に注力しており、トータルコストや環境負荷の低減に貢献できるCBM(状態基準保全)を実現するべく、製品やサービスの開発に取り組んでおります。

海外市場においては、当社製CBTC(無線式列車制御システム)「SPARCS」が高く評価されており、導入実績をもとに新興国のインフラ需要に応え、営業活動を推進しております。

スマートモビリティ

売上高 **1,520** 百万円
（前年同期比31.1％減）

バス自動運転実証実験の様子

第2四半期のポイント

道路交通安全システムを中心とする「スマートモビリティ」では、道路管理者市場で参入している道路情報板や、駐車料金を徴収するパーキングメーター等の受注・売上がありました。全国各地で、交通信号機の灯色情報や道路に設置したセンサーからの情報を自動運転車両に提供するシステムの実証実験に参画しております。

ICTソリューション事業

売上高 **16,834**百万円（前年同期比29.9%減）

AFC

売上高 **13,193**百万円
（前年同期比12.0%減）

昇降式ロープ柵

第2四半期のポイント

駅務ネットワークシステムを中心とする「AFC」では、国内市場において、改札機、券売機、ホームドア等の受注・売上がありました。今期はホームドアの地方都市への展開に取り組んでおり、顔認証を搭載した改札機の開発等にも注力してまいりました。また、駐車場システムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で設備投資が急速に冷え込み、特に厳しい事業環境にありました。

海外市場においては、インド・アーメダバードやバングラデシュ・ダッカなど、アジア諸国のプロジェクトが計画どおりに進展しております。

スマートシティ

売上高 **3,640**百万円
（前年同期比59.7%減）

吸塵型清掃ロボット（CLINABO CL02）

第2四半期のポイント

セキュリティーソリューションシステムを中心とする「スマートシティ」では、3Dセンサーを従来のホームドア市場だけではなく、建機や農機の市場にも展開する一方で、セキュリティーゲートや地中レーダー等の受注・売上がありました。新たにラインナップに加えた吸塵型清掃ロボット（CLINABO CL02）は除菌作業も可能であり、人手不足の解消のみならず、感染症予防にも広く貢献するものであり、今後も、社会の変化に対応した新たな市場価値の創造に努めてまいります。

※2020年4月に、スマートシティ事業部に属していた駐車場事業をAFC事業部に業務移管いたしました。

グローバル展開への取り組み

9 産業と技術革新の基盤をつくろう
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を
17 パートナーシップで目標を達成しよう

交通信号システムで ウガンダ共和国での存在感を強める

ウガンダ共和国の首都カンパラを東西に貫く幹線道路Jinja Roadの交通渋滞緩和を目的に、交差点を制御する交通信号システムMODERATOを納入いたしました。ウガンダ共和国への納入事例は、当社にとって3案件目となります。納入した機器のメンテナンス業務に関しては、現地の優れたパートナー会社と良好な関係を構築し、日本で研修を行うなどしており、今後は、ウガンダ共和国を中心とした東アフリカ地域での拡販を目指しております。

当社は、「アフリカの真珠」と言われるウガンダ共和国を起点として、都市化とモータリゼーションが進むアフリカ諸国での交通渋滞解消に貢献してまいります。

日本での研修の様子

MODERATO施工の現地作業メンバー

台湾・南迴鉄路台東～潮州間電化工事 まもなく全線電化完了

2017年に当社が士林電機廠股份有限公司と共同で受注した台湾・南迴鉄路台東～潮州間電化計画システム機電ターンキー工事は、概ね予定通り施工が進んでおります。昨年末の潮州～枋寮間に続いて、残る枋寮～知本間の電化営業運転が今年12月23日に開始される見込みとなりました。

当社はCTC(列車集中制御装置)、電子連動装置を納入しております。これにより台湾本島の全島を一周する台湾鉄路の本線全区間が電化され、台北・台中・高雄などの大都市から台湾南部の各地まで電車特急の直通運転が可能になり、所要時間が大幅に短縮される予定です。

南迴鉄路を走行するプユマ号

嘉義駅

嘉義駅構内

台湾・嘉義市街 鉄道高架化計画

当社は、嘉義駅を中心とする嘉義市街を通過する軌道が高架化されることに伴う鉄道信号システムの更新工事を行っております。本工事は、既存路線を運用しながら高架化するために多くの線形変更があり、難易度が高い信号システム工事となりますが、嘉義駅の既設連動システムは当社製であることや台湾において多くの既設設備の更新を経験していることから、これまでのノウハウを生かしながら本工事も着実に進めてまいります。

嘉義駅は、観光地として有名な阿里山への移動を支える「阿里山森林鉄路」の出発駅でもあります。同路線の建設時には多くの日本の鉄道技術が導入されており、当社の踏切しゃ断器も納められております。

自動清掃ロボットを高輪ゲートウェイ駅に納入

自動床清掃ロボットCLINABOおよび吸塵型清掃ロボットCLINABO CL02を高輪ゲートウェイ駅に納入しました。駅には点字ブロックのような凹凸や、階段や改札機などの様々な構造物があるほか、常にたくさんの旅客が行きかう環境のため、本製品は高い安全性と走行の正確性を兼ね備えております。さらに、CLINABO CL02にオプションで付けられる除菌機能の性能は高く、除菌剤の噴霧量を細かく設定することができるうえ、長時間の連続除菌が可能です。

差し迫った超高齢化社会に伴う労働力不足の解決策として様々なロボットが開発されており、当社も社会インフラを支える「ロボットメーカー」として、今後も事業を積極的に展開いたします。

自動床清掃ロボット CLINABO(右)、
吸塵型清掃ロボット CLINABO CL02(左)

交通制約者支援アプリ「信GO!」をリリース

当社は、交通制約者の方々が安全、安心して街に出られ、暮らしが快適になるよう従来から取り組んでまいりましたが、このたび、歩行者信号の情報をスマートフォンに提供するアプリケーション「信GO!」を開発し、無料での配信を開始いたしました。

本アプリは、歩行者信号の情報(青信号、赤信号、青点滅情報等)を「音声」「振動」「画面表示」によって利用者に伝えるもので、押ボタンの遠隔操作も行えます。

利用可能な交差点は、BLE※路側機が設置されている交差点に限られておりますが、今後、本アプリが利用可能な地域は順次拡大する予定です。

※BLE(Bluetooth Low Energy)…Bluetoothの一部で低消費電力の通信モード

鉄道関係功労者大臣表彰を受賞

当社、取締役会長の降籏洋平は、国土交通大臣より、第27回「鉄道の日」鉄道関係功労者大臣表彰を受賞いたしました。この表彰を受賞した「鉄道事業振興関係」4名のうち、メーカーとしては唯一の受賞となります。多年にわたる鉄道関連事業の振興に努め、斯界の発展に寄与した功績に対し、表彰されたものであります。

今後も鉄道関連事業の振興に努め、鉄道技術の発展に寄与してまいります。

IEC1906賞・国際標準化貢献者表彰を受賞

当社、CBTC（無線式列車制御システム）技術部八木誠がIEC（国際電気標準会議）より電気技術の標準化に貢献した専門家を表彰する「IEC1906賞」を受賞いたしました。また、経済産業省産業技術環境局長より、国際標準化機関などの専門委員会への貢献を表彰する「国際標準化貢献者表彰」を受賞いたしました。鉄道に関する国際規格審議に10年以上にわたり幅広く参画し、日本の鉄道技術の国際標準化に尽力したことが高く評価されました。

CSR 活動報告 Corporate Social Responsibility

埼玉県立小児医療センターへ七夕の笹を寄付

当社は、埼玉県立小児医療センターの小児医療に対する真摯な姿勢に共感し、2018年の創業記念募金から継続的に寄付をしております。

今年は、病気やけがと日々向き合っているお子さん達に七夕の笹15本を寄付いたしました。後日、感謝状をいただいた際には、たくさんの願い事や折り紙で飾りつけされた七夕の笹を見せていただきました。

JICA留学生インターンシップを実施

当社は、アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)とアジアの高度外国人材を育成するイノベーティブ・アジアから4名の方を受け入れ、インターンシップを実施いたしました。

インターンシップでは、経済発展における交通インフラの重要性や安全と信頼に対する考え方、当社の海外事業や新事業への取り組みを説明するとともに、当社が独自に開発したCBTC(無線式列車制御システム)「SPARCS」等の新しい技術を紹介いたしました。海外の技術発展の一助として、今後も留学生のインターンシップを行ってまいります。

株式の状況

発行済株式総数	68,339,704株
株主数	13,675名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
富国生命保険相互会社	4,793	7.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,789	6.08
日本信号グループ社員持株会	3,690	5.92
日本信号取引先持株会	3,146	5.04
株式会社みずほ銀行	2,200	3.53
西日本旅客鉄道株式会社	2,050	3.29
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,909	3.06
GOVERNMENT OF NORWAY	1,581	2.53
株式会社三菱UFJ銀行	1,372	2.20
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,334	2.14

(注) 1.富国生命保険相互会社は、上記の他に当社の株式730千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は同社が留保しております。
2.持株比率は自己株式(5,967,947株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会日	6月下旬
基準日	定時株主総会関係 3月31日 剰余金期末配当関係 3月31日 (中間配当の支払いを行うときは9月30日)
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先・電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) http://www.signal.co.jp/ir/ ※ 事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

コーポレートデータ 2020年9月30日現在

会社概要

社　　名	日本信号株式会社
所 在 地	〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階
電話番号	03-3217-7200
代 表 者	代表取締役社長　塚本 英彦
設　　立	1928年12月27日
資 本 金	100億円

連結子会社

日信電子サービス株式会社
日信ITフィールドサービス株式会社
仙台日信電子株式会社
中部日信電子株式会社
日信工業株式会社
栃木日信株式会社
日信特器株式会社
日信ソフトエンジニアリング株式会社
日信電設株式会社
山形日信電子株式会社
札幌日信電子株式会社
福岡日信電子株式会社
朝日電気株式会社

海外子会社

北京日信安通貿易有限公司
Nippon Signal India Private Limited

営業拠点・事務所

大阪支社
北海道支店
東北支店
中部支店
九州支店
久喜事業所
宇都宮事業所
上尾工場
台北営業所
ダッカ営業所
ヤンゴン営業所　他

役　員

取締役・監査役

取締役会長	降籏 洋平
代表取締役社長	塚本 英彦
取締役副社長	徳渕 良孝
取締役	藤原 健
取締役	大島 秀夫
取締役	久保 昌宏
社外取締役	米山 好映
社外取締役	松元 安子
社外取締役	井上 由里子
常勤監査役	川田 省二
常勤社外監査役	塩川 実喜夫
社外監査役	玉川 雅之
社外監査役	志村 直子

執行役員

最高経営責任者 最高執行責任者	塚本 英彦
副社長執行役員	徳渕 良孝
専務執行役員	藤原 健
常務執行役員	大島 秀夫
常務執行役員	久保 昌宏
常務執行役員	寒川 正紀
上席執行役員	平野 和浩
上席執行役員	武藤 徹
上席執行役員	坂井 正善
執行役員	奥井 伴彦
執行役員	平間 喜満
執行役員	流郷 一宏
執行役員	後藤 隆一
執行役員	宇野 正純
専門役員	荒井 八郎
専門役員	佐藤 和敏
業務執行理事	田上 英明
業務執行理事	三国 宏之
業務執行理事	南 順一

本書では、SDGs達成に向けた取り組みに関する記事にSDGsアイコンをつけてご紹介しています。

SDGs(持続可能な開発目標)とは

正式名称は「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」といい、より良い世界を築くために国際社会が一体となって取り組むべき17のゴール、169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

Topページ
https://www.signal.co.jp/

日本信号株式会社
〒100-6513　東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13 階
TEL：03-3217-7200　FAX：03-3217-7300　E-mail:info@signal.co.jp

UD FONT
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK